



みんなの力できれいなまちに

地域婦人会連絡協議会

地域婦人会連絡協議会（榎元あや子会長）が、7月1日、志佐町の松浦中央公園の除草・清掃活動を行いました。

同会は、志佐町と今福町の二つの婦人会からなる協議会で、地域に根ざした婦人会をつくるために、本年度は環境美化の取り組みを進めており、今回、30人の会員が参加し汗を流しました。

榎元会長は「作業終了後は流れる汗とともに心豊かになった気がします。美しいまちづくりに少しでも貢献できれば嬉しく思います」と語りました。



豊漁を願い稚エビ池入れ

福島クルマエビ養殖場

稚エビの池入れが、6月13日、新松浦漁業協同組合の福島クルマエビ養殖場で行われました。

30,000平方メートルの第1池に約1割程度の稚エビ100万尾が放流されると、稚エビは元気に我先に池の底へ潜っていきました。

これまで東京の築地市場でも高い評価を受けてきた漁協のクルマエビ。今シーズンの豊漁とさらなる品質の向上を願い、池入れ後に神事が執り行われました。

9月初旬ころには体長10割以上に成長し、今シーズンの出荷が始まります。



校舎への感謝と惜別の思い

福島中学校校舎お別れ式

福島中学校校舎お別れ式が、7月10日、福島中学校体育館で行われました。福島中学校の現校舎は、昭和30年4月に開校し、62年間の歴史を地域とともに歩んできました。当日は、地域の人たちも多く訪れ、会場に飾られた思い出の写真や卒業生たちのメッセージを見たり、校舎の歩みをまとめたスライドショーの発表を聞きながら思い出を分かち合いました。

記念講演では、第36回卒業生であるNHKアナウンサー松尾剛（つよし）さんが、ふるさと福島への思いや仕事について語られました。



交通安全を呼びかけ

松浦市柔道協会

松浦市柔道協会（山本勝治^{かつし}会長）が、7月15日、ハイマート松浦店前で松浦警察署および松浦地区交通安全協会と一緒に交通安全の啓発活動を行いました。

柔道協会では、日ごろから松浦警察署の道場を練習場として利用しており、そのお礼を込めて毎年夏の交通安全運動の街頭啓発に参加しています。

この日は、柔道協会に所属する子どもたち10人とその保護者など約30人が参加。

柔道着姿の子どもたちは、店内から出てくる買い物客に、啓発チラシや交通安全5則が印刷されたクリーナークロスを手渡ししながら交通安全を呼び掛けました。



清掃活動で地域へ貢献

松浦ロータリークラブ

松浦ロータリークラブ（上村幸四郎会長）が、6月18日、柚木川内キャンプ場の清掃活動を行いました。

同会は、7月1日のキャンプ場開きを前に、快適に施設を利用してもらおうと、毎年清掃活動を実施しています。

この日は、会員や地域住民ら33人が参加し、周辺道路やキャンプ場内の草刈り、トイレや炊事場、バンガローなどの施設を清掃し、訪れる人が気持ちよくキャンプ場を利用できるよう汗を流しました。



自然の中で楽しもう！

柚木川内キャンプ場開き

7月1日、柚木川内キャンプ場開きと安全祈願祭が行われました。祈願祭には、地区住民、警察、消防など関係者が集まりシーズン中の安全を祈願しました。

柚木川内地区長の大畑康夫さんは、「このキャンプ場は四季折々の自然を楽しめる場所。訪れる人たちに自然の魅力を感じてもらいたい。地区としてもこの豊かな自然を残していくよう取り組んでいきたい」と挨拶しました。



魅力ある企業とのであいの場

合同企業面談会

合同企業面談会が、7月1日、志佐町の生涯学習センターで行われました。

この事業は、地域内の雇用促進を目的に実施されたもので市内企業9社が参加しました。

午前中は高校生22人が参加し、企業採用担当者から企業の情報や仕事内容の説明を受けました。午後からは、一般の人を対象に、求職者と事業者のマッチングが行われ、21人が参加しました。参加者は直接面談できる場を活用し、企業への理解を深めました。



地域に密着した広報活動

自衛官募集相談員委嘱状交付式

自衛官募集相談員委嘱状交付式が、6月26日、市役所で行われました。市長と自衛隊長崎地方協力本部長との連名にて、吉原順穂さん（志佐・池成）と川上幸孝さん（御厨・木場）が委嘱されました。

自衛官募集相談員は、任期の2年間にわたり、自衛官志願者に関する情報の提供や自衛隊地方協力本部の行う募集のための広報活動などを、個人の好意に基づいて実施します。また、防衛意識の普及や防衛基盤の育成にも貢献します。

